

研究会備忘録

36

研究グループ	効率性研究グループ	しくみ研究グループ
日時	平成20年2月28日(木) 16:00~18:30	
会場	本館3階 庁議室	
出席者	岩下、小河、團野、前田、山下、大道、佐藤	
内 容		
テ ー マ	コ メ ン ト	
中間報告会に向けて	4月4日の中間報告へ向けて、発表内容の骨格をつくっていく。 各課へ依頼した「2016年まちのかたちを考える」アンケートの回答が3/3までに提出される予定。中間報告の際に回答を取りまとめて、報告を行う。	
最近の動向について	<p>新聞に掲載された近隣市町村の動向について紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 唐津市:「唐津市シニア活動支援センター」介護支援ボランティア事業 ・ 大分県立賀来小中学校:小中一貫校で研究発表会(「中1ギャップ」解消に期待「4・3・2制」) ・ 九経調:道州制導入の2025年度の九州にける成長率予測最大で2.1% ・ 地方活性化へ向けて全国8ブロックで地方再生戦略の取りまとめや相談業務を担う「地方連絡室」を設置 <p>最近の動向について情報収集を各自行うこと。</p>	
今後の研究について	<p>大野城市の広域行政の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の広域行政は、一部事務組合や広域連合で行っている事業である。 ・ 消防、ごみ、し尿、火葬場、介護認定審査会など <p>行政界を超えた取組の可能性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活圏域、市民ニーズにあった取組が可能か? ・ 学校、保育所、幼稚園、駅、商業施設、コミバス、各種証明書発行、観光などの項目に注目して、住民にとってメリットがある広域な事業取組が可能か検討してはどうか? <p>教育行政に関する法律の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の任命権、任用、定数、学級編制等について <p>教育行政の権限を基礎自治体へ移譲した場合のメリット、デメリットについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メリット:事務処理の簡素化、効率化など(住民に対してのメリットは?) 	

	<ul style="list-style-type: none">・ デメリット：職員の固定化など・ 大野城市単独、筑紫地区での実施について検討・ 市単独で担任教師を採用できるのか？・ 学校 6・3 制の見直しは市でできるのか？・ 「夢と未来のこどもプラン」から見えるメリット・デメリット
次回会議の日程について	3月6日(木)開催予定